

七浜

第168号

福島県公立学校
退職校長会
いわき支部
発行責任者 一
沢 宏 編集
七浜編集委員会

本号の主な内容

- | | |
|----|-----------------------|
| 1面 | いわき支部総会・60周年記念祝賀会 |
| 2面 | 賀寿伝達の様子・支部組織 |
| 3面 | 賀詞伝達の様子・支部組織 |
| 4面 | 大臣表彰を受けて・県大会報告 |
| 5面 | 新入会員の感想・歓迎の言葉 |
| 6面 | 方部の伝言板・ご逝去を悼みご冥福を祈ります |
| 7面 | クラブ活動今年度の計画 |
| 8面 | 文芸 |

60年の重みと更なる歩みと 支部総会並びに60周年記念大会

ひと口に60年というのはたやすいが、その歩みは、とてつもなく大きい。そんな記念すべき年の4月19日、令和7年度第60回退職校長会いわき支部総会並びにいわき支部創立60周年記念大会が多くのご来賓をお迎えし、椿山荘において開催された。

イベントクラブの立ち上げについても触れ、今年度も支部の3つの目標の具現に努力することを確認された。

続いて大平幹事から新会員の紹介があった。今年は役職定年を迎えた7名が入会された。新風をどんどん吹き込んでほしいと述べられた。その後、新会員を代表して渡邊貴彦会員が入会のあいさつとして、それぞれが

飯塚副支部長の開会のことばに続いて、国歌斉唱、物故会員への黙祷の後、支部長のあいさつ（武田副支部長代読）。その後、沢支部長は、たゆみない60年の努力があったからこそ、現在の会があることに触れ、会員への感謝を述べ、立ちあげた「人材バンク」については、現場のニーズをしつかり踏まえ、今後子どもたちの成長を支えてほしいこと、また昨年度試行を続けた



副支部長あいさつ

本年度の目標を定め、豊かで充実したものにしたという強い思いを述べた。

記念品・感謝状の贈呈では、記念品は叙勲を受けた代表の高木啓子氏に、感謝状は佐藤保久氏に贈られた。

来賓祝辞を述べた内田広之市長（代読は服部教育長）は、創立60周年に祝意を述べ、これまでの功績に敬意を示したいこと。

〇礎を築いてきた方の財産と発展は、今後の教育の原動力となり、これまでの会の歩みは、後進の目標となること。

〇市も市制59周年を迎え、困難な時代にふさわしい未来を考えると、ウェルビーイングな人作りを推進していきたいということ。

などを述べ、熱い思いが伝わってきた。

支部長あいさつ（飯塚副支部長代読）で、この会は新入会員の歓迎の意味もあるので、コミュニケーションを十分取りつつ創立60周年を祝ってほしいこと（支部長の60周年に寄せる思いについては、要項1ページ参照）

60周年記念祝賀会



飯塚副支部長の来賓紹介・祝電披露の後、議事に移った。吉田豊彦氏と渡邊隆氏が議長に選出され進められた。議事はスムーズに進行し提案されたすべての議案が承認された。特に支部細則の改正では、新盆者への弔意が諸般の事情で削除された。根本副支部長の閉会の言葉で総会は終了となった。

今後、新しい歴史を積み重ねていく思いを共有できたのではないかと感じた1日でもあった。

照）、新設のイベントクラブの加入について述べた。（成果は、すぐに現れ、この会場で入会者が多数出て、翌日からの「いわき花紀行」には、素敵な写真が数多く投稿された。）

功労者表彰の後、功労者を代表して、鈴木雅之氏があいさつをされた。忘れられないこととして、東日本大震災と高齢者の概念の変化をあげ、働き方改革は、本会にも影響を及ぼすだろうと述べた。

芳賀いわき教育事務所長の乾杯の発声で宴が始まった。あちこちで笑顔の輪ができた時間いっぱい話しても、まだ足りないような顔で、会場を後にした会員が多かったようにも思われた。

おめでとうございませ 長寿のお祝い



「長寿の会員が増えてきている。喜ばしいことである。このコーナーでは、元気で積極的な生き方の指針となる」とが、たくさん示され、参考にされている会員も多いのではないだろうか。

賀寿

好間・三和

佐川 芳雄氏

昭和5年2月14日生

手入れのよく行き届いた庭には、先生の賀寿を祝うかのように梅の花のつぼみが膨らんだ2月15日、佐川芳雄先生のご自宅を川島会長と方部委員の2名で伺いました。その後、会長さんからの賀寿の祝い状伝達の後、先生から懐かしいお話を伺うことができました。

先生は、昭和25年に県立磐城農業高校へ赴任され、早速野球部の監督を任されたそうです。しかし、当時は弱小チームであったため、すぐに廃部となり、その後、やんちゃ生徒からの強い要請もあったことからラグビー部監督になったそうです。全く指導経験も

なかったことから、毎日45分走とスクラムの練習を約束させました。その結果チームは強くなり国体への出場を果たされたそうです。練習では自分も一緒に走るなどし、自然に足腰も丈夫になり、今でも元気にいられるようになったことを嬉しそうに話されました。

また、普段の生活の様子をお聞きすると、20数年前に病気になるれた奥様が施設に入られ、3年前に亡くなられたとのこと。それから家事一切を自分でされているそうです。幸い近くに息子さんが住んでおり、毎日仕事帰りに様子を覗きに寄ってくれるとのことでした。

最後に、100歳目指してお元気に過ごされるようお願いし、先生宅を後にしました。

(好間・三和方部委員 吉田兼光)

賀寿

草野・神谷

釜野井真一氏

昭和5年4月27日生

釜野井先生の誕生月である4月の佳き日に、草野・神谷方部中根会長と方部委員2名で自宅を訪問しました。

現在、先生は一人で自宅にお住まいで、玄関先までわざわざ出向えていただき、応接室にて会長から賀詞のお祝いをお渡ししました。

その後歓談になり、現職時の資料整理に余念がないこと、庭の手入れも毎日欠かさないこと、また健康に十分気をつけて過ごしていることなど、元氣にお話をしていたいただきました。

今後益々のご健勝をご祈念申し上げます。

(方部委員 門馬 栄)



賀詞

小名浜

高木 啓子氏

昭和12年1月14日生

1月25日、鵜沼淳方部委員と賀詞のお祝いに伺い、表彰状と記念品をお渡ししました。

在職中のお話からは、女性校長がまだ2名しかおらず、同僚に恵まれ支えられ職責を全うできたとのことでした。担任時代の江名小と永崎小の時には、漁業が全盛期で北洋サケ・マス独航船の見送りに鼓笛隊を編制して参加したことが思い出深いとのことでした。

退職後は、生け花クラブの担当から華道に携わり、現在師範になって活躍されていること、新聞を毎日読むことを習慣にしていること、運転免許証を83歳で返納し安全第一の生活に心がけていることなど、尽きない話題で、和やかなひと時を過ごして参りました。

先生の益々のご健勝を心からご祈念申し上げます。

(小名浜方部委員 吉田幹男)

令和7年度

いわき支部の組織

(令和7年6月1日現在)

顧問

高木 清 渡部祐亨
山内正衛 賀澤裕三
鈴木雅之 増井健二

支部長

沢 宏一 根本良政

副支部長

飯塚啓文 斎藤昭三

監事

小峰美保子 稲沼正雄

理事

伊藤 紘 鈴木光男
福羽俊光 吉田一右
西山允雄 中根孝雄
坂本達夫 藤川整一
吉田豊彦 川島秀隆
渡邊 隆 鶴沼 淳
山口洋子 川口如洪
馬淵 章 笹川育正
高澤昭子 折笠文昭

幹事

村田 哲 高木典子

金内三郎 武藤忠晴

門馬 栄 比佐 功

神田 豊 森 均

大平好一 曾川孝規

鈴木廣美 平子宗司

小野則夫

村田 哲

大平好一 武藤忠晴

幹事次長

賀詞

平窪

前田 権氏

昭和12年2月24日生

賀詞

好間・三和

坂本 高氏

昭和12年3月8日生

賀詞

平北

遠藤 孝氏

昭和12年3月31日生

賀詞

内郷

鈴木 喬氏

昭和12年5月1日生

誕生日の2月24日、方部委員が代表してご自宅にお伺いし、賀詞の表彰状と支部の記念品をお渡ししました。

ご家族と共に温かく迎えてくださり、和やかな雰囲気の中、思い出の写真や貴重な資料まで準備いただきました。

夏休み期間も自主的に東京に出かけて英語の研修を受講し、授業力や指導力を磨いたこと、教頭時代には生徒指導の難しさを実感しながらも生徒会活動の活性化を図り、生徒の生き生きと輝く姿が多く見られるようになったこと、退職後の10年間、放送大学の事務局長として高齢者や社会人、高校生等の幅広い年代との出会いや交流を通して生涯学習の一助を担うことができたこと等、心に残るお話をたくさんお聞きすることができました。

先生の益々のご健勝を心から祈念申し上げます。

(平窪方部委員 斎藤昭三)

3月8日のお誕生日に坂本高先生のご自宅を川島好間・三和方部会長と方部委員の2名で伺いました。伝達には先生の息子さんに同席をいただき、米寿のお祝い状と記念品を川島会長から伝達し、その後、短時間ではありましたが先生からお話を伺いました。

先生は、近頃、足腰が弱り車イスでの生活をされておりますが、

「わざわざお届けいただきましてありがとうございます」と、はつきり感謝の言葉をかけてくださいました。また、自宅での一人暮らしが長かったことから体力がだいぶ落ち、最近は一歩行も難しい状態になったとの事。平日にはデイサービスを利用し、足腰の訓練に励んでいるとのことでした。

益々のご健康を祈念し、先生宅を後にしました。

(好間・三和方部委員 吉田兼光)

令和7年3月31日に先生のご自宅を方部委員の鈴木貴一先生と訪問しました。先生と奥様が出迎えてくれました。はじめに、全国退職校長会からの表彰状をお渡ししました。

先生からは、退職後に取り組んできた菊作りについてのお話をいただきました。励みのために市内のいろいろな場所に展示してもらったそうです。いわき市で開かれた菊作りの全国大会にも参加されたことも話してくださいました。また、健康のためにゴルフにも取り組んできたことも話されていました。勤務された学校についてもご自分の思いをまじえて話してくださいました。いろいろなお話を聞きし有意義な時間を過ごすことができました。

これからもお元気で過ごしてください。引き続きよう祈念しご自宅を後にしました。

(平北方部委員 笹川直樹)

5月5日、吉田豊彦方部長と鈴木喬先生のご自宅にお伺いし、賀詞の表彰状と支部の記念品をお渡ししました。

先生は一人暮らしながら、ご壮健で生活全般を切り盛りされ、美しい庭づくりや家庭菜園を楽しんでおられました。現職時代は部活指導に熱中し、奥様に「部活後家」と言われたそうですが、退職後は高血圧治療のため一日3gの減塩に努める一方6千歩のウォーキングに励んでおられます。

父親の介護で大変苦労された経験から、健康の大切さを痛感され、地区住民のため健康教室を立ち上げ、今も継続されているそうです。

囲碁は七段格で様々な対局をしましたが、今はネットやソフトのゲーム中心だそうです。

多彩な趣味と確固たる信念を持たれる先生のますますのご健勝をお祈りいたします。

(内郷方部委員 吉田徳継)

会 計

金内三郎	高木典子
門馬 栄	柳田祐子
比佐 功	神田 豊
森 均	曾川孝規
鈴木廣美	平子宗司
小野則夫	高木典子
経理長	鈴木廣美
柳田祐子	鶴沼美枝子
委員長	丹 美枝
委員	佐藤正則
金子美津子	滝 英長
澤田三登利	

方部委員

●印は方部代表

(令和7年6月現在)

平 ●荒川良治	笹川直樹
●団野勝一	鈴木重則
飯島裕人	斎藤昭三
門馬 栄	阿部孝貞
宮内壽雄	
四倉 ●野木謙三	鈴木廣美
久之浜 ●橋本蒼延	(27名)
小川 ●佐藤正則	(7名)
内郷 ●吉田徳継	
好間 ●佐藤哲哉	(24名)
三和 ●吉田兼光	(14名)
小名浜 ●吉田幹男	(39名)
常磐 ●関内 健	(35名)
勿来 ●馬淵 章	笹川育正
遠野 ●高澤昭子	(35名)
田人 ●折笠文昭	(2名)

文部科学大臣表彰

おめでとうございます

石川哲夫氏が、文部科学大臣表彰科学技術賞の理解増進部門で受賞された。

受賞の喜びや内容について綴っていただいた。



「文部科学大臣表彰」を
受賞して
石川 哲夫

2011年、私が公立学校教員を退職する間に福島第一原子力発電所事故が発生しました。教育現場では放射線の科学的な理解促進が求められるようになりました。同年、大学科学技術学部に移した私は、文部科学省「放射線に関する教職員研修及び出前授業実施事業」の専任講師及び事業推進委員に委嘱され、令和6年度まで継続14年間活動しました。学会論文発表、県内外小・中・高等学校等を対象に行った出前授業、教員研修等の業績について「科学技術賞」が授与されました。

直近3カ年では、福島県内学校延べ263校へ出前授業を実施し、1万3千人を超える児童

第59回 県大会(会津)報告

テーマ

「共生と持続可能な社会の実現に向けて貢献するために」

6月10日、南会津町の御蔵

入交流館において開催された。今大会は、参加者数を178名に絞ったコンパクトな大会となった。いわきからの参加者は、沢支部長以下8名。

開会式に先立ち、92名の物故会員へ黙祷をささげた。福士会長は現在の会の状況にふれ、入会活動への取り組みの大切さや学校の応援団としての活動の持続について述べた。

講演会では、「米焼酎『ねっか』只見で生き抜く」と題して、合同会社「ねっか」代表脇坂斉広（よしひろ）氏が、米焼酎「ねっか」が生まれるまで、地域への思い、子どもたちへの夢などについて、熱

生徒が受講しました。座右の銘に「気づき・考え・実感する理科授業」を掲げ実践して参りました。受賞は、皆様のご支援の賜と感謝申し上げます。

く語られた。

午後からの体験発表では、伊達・田村・双葉の3つの支部の発表があった。

①伊達支部

写真人生「かきくけこ」と題して矢館実也氏がこれまでの写真人生を発表してくださった。数々の賞も受賞している矢館氏の写真にける思いが伝わってきた。今後は、回を重ねている写真展も計画されている。

②田村支部

支部の現状と活性化に向けた課題Ⅱ会員の交流を軸とした持続可能な会活動を目指してと題して安瀬一正氏が代表して発表された。学校数減少

に伴う会員数の変化、会員の不安や悩みの把握。この課題に対してどのような会活動を展開していったのか。同じような課題を持つ支部には参考になる事が多かったのではないかと考える。

③双葉支部

「震災と事故後14年、双葉の今」の題で、小野田敏之氏が震災後14年を経ての双葉の変わらぬ思いを述べた。なんと「この言葉に尽きるだろうことを改めて思わされた。そしてこれは、私達会員の大きな課題でもある。」

大会宣言。今年は、参加者全員で唱和したところに、その意義がある。グローバル（地域性を考慮しながら地球規模の視点で考え、行動すること）市民として、地域貢献活動に尽力することを……。

閉会式の後、会津の会員の見送りを受け、会場を後にした。

参加した会員の感想から

○はるばる来たぜ南会津。いわきから途中休憩をとり、三時間弱、山々の緑も濃く目に

やさしい風景の中、全県から多くの会員が集い県大会が開催されました。印象に残ったのは、合同会社「ねっか」の社長さんの熱き思いでした。酒飲みにとつてとても興味のある講演でした。一本購入！

(金内 三郎)

○集合場所を6時50分に、南会津に向けて出発。10時頃会場の御蔵入交流館に到着。

年に一度、県内の各地に集い、講演を聞き、会員の様々な体験を共有することは、マナー化しがちな日常を活性化させる起爆剤になるのではと、改めて考えさせられた一日となりました。

(武田 幸子)



竹の会報の百字感

今年度は役職定年を迎えた7名の新会員を迎えることができた。次のステージでの活躍を期待するとともに、本会にも積極的に関わってほしいと願っている。

ながらの勤務です。引き続きのご指導をよろしく願います。

(前平第三中学校長)

入会にあたって

三森 浩晶

現職・退職校長として

渡邊 貴彦

4月より、特例任用校長として赤井中学校に勤務しております。これまで先輩方からいただいたご指導やご支援を現場に返していかなばと思います

このたび退職校長会に入会させていただきました。

諸先輩方と共に学びを深め豊かな交流ができれば幸いです。よろしくお願いいたします。

(前中央台北中学校長)

ようこそ！7名の新入会員の皆様

副支部長 武田 幸子

ようこそ！7名の新入会員の皆様。私たち退職校長会いわき支部の会員一同、心より歓迎致します。

ロシアのウクライナ侵攻を初め、トランプ大統領の出現など世界は激動の時代を迎えようとしています。そのような

中、頼もしい仲間を得て、より充実したいわき支部の新たな一歩を、共に踏み出せることを嬉しく思います。

また定年が延長になり現職で活躍されている中、入会していただいたことへのありがたさを感じています。

お世話になります

磯上 貴英

4月より特例任用校長として、内郷第二中学校に勤務しております。残りの時間をこれまで多くの先生方にお世話になった分を生徒たちに返していけたらと思っています。

退職校長会の皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

(前豊間中学校長)

お世話になります

設楽 芳浩

役職定年を迎え4月から特例任用校長として植田東中学校に勤務しております。

30年前の開校メンバーの一人として、生徒・保護者・地域のために職責を全うしたいと思っておりますので、今後ともよろしく願います。

(前泉中学校長)

原点回帰

鈴木 隆

再任用校長として、湯本三中に勤務しています。全校生徒75名の小規模校です。生徒

の顔と名前を覚え、生徒や先生方の笑顔と笑い声に開かれ、教育の原点に戻り、楽しく充実した毎日を送っています。

(前錦中学校長)

新たな日々

渡邊 学

新入会員の渡邊学と申します。役職定年により、4月からは、校長としての前任校であったいわき総合高校で教諭として勤務しております。十数年ぶりの授業に、趣味のラニンングと、日々楽しく取り組んでいるところです。

(前磐城桜が丘高等学校長)

現況報告

佐藤 秀雄

役職定年により、磐城桜が丘高校教諭として働かせていただいております。専門科目を指導できる喜びを感じつつも、働き方改革とは、ほど遠い日々を送っています。毎日、同室の先輩吉田豊彦先生に愚痴をこぼしています。

(前好間高等学校長)

事務局より

「人材バンク」の募集について

令和5年度より退職校長会いわき支部では、「学校支援の人材バンク」を設立しました。

これまでの実績は、「不登校児童の支援」「学習支援(版画指導・絵画指導・授業補助指導)」「小学校陸上大会運営支援」「学びの習慣づくり(市教委依頼)」などの活動です。

現在、学校現場では、働き方改革とともに学力向上・個に応じた指導等、取り組むべき課題が山積しております。

今年度も各学校・校長会・行政からの要請に応じた学校支援を行っていききたいと思っております。

支援ができる方で「人材バンク」に未登録方は、この機会に登録をしていただければ幸いです。

どうぞよろしく願います。

連絡先 大平好一幹事

090・4551・3228

方部の伝言板

63

会員相互の親睦を深めて

——好間・三和方部——

吉田 兼光

好間・三和方部は、秀峰関伽井嶽を背に、清流好間川に育まれた緑豊かな地区であります。近代以降は、石炭産業の発展とともに隆盛の時を迎え、村として「人口」日本一を誇りましたが、石炭産業の衰退とともに地区も様替わりをし、近年では南北に走る常磐高速自動車道と東西に走る国道49号とが交わる交通の要所として、また、好間中核工業団地の整備に伴うベッタウンとして発展を遂げております。

学校が開校されました。好間三小においても児童数の減少から平成30年に閉校となりました。

さて、今年度の当方部は会員数14名となり、4月19日に総会を持ち、新会長に佐藤悟先生が選出され、新体制でのスタートを切りました。今年度も地区内の小中学校から校長先生をお招きしての生徒指導懇談会を持つ予定としています。昨年度、5年振りに開催した懇談会では不登校対

策やスマホ問題への対応などに苦慮されている学校現場の様子を知り、情報を共有することができました。

なお、現職の先生方にはできるだけ負担をかけないよう事務的なことについては、退職校長会のほうで行ない改善を図りました。

会の終わりには各会員より近況報告をいただきました。その中で話題に上るのは、趣味や世相など和気あいあいの中で、豊富な話題に話が弾み、暫し時間が過ぎるのを忘れるほどでした。

今後も会員相互の親睦を深めることを主たる目的として活動してまいります。

ご逝去を悼み心からご冥福を祈ります

故 鈴木 知先生

誕生 昭和6年5月18日
遺族 鈴木 聡

逝去 令和6年12月26日

故 鈴木 宏平先生

誕生 昭和5年12月16日
遺族 加藤 敏行

逝去 令和7年1月3日

故 市川 善明先生

誕生 昭和13年2月9日
遺族 市川 善史

逝去 令和7年1月26日

故 根本 榮信先生

誕生 昭和10年4月10日
遺族 根本 雅章

逝去 令和7年1月30日

故 藤田 秀平先生

誕生 昭和32年10月12日
遺族 藤田 知子

逝去 令和7年2月18日

故 浦山 哲男先生

誕生 昭和25年1月16日
遺族 浦山 哲平

逝去 令和7年2月24日

故 阿部 郁夫先生

誕生 昭和4年12月5日
遺族 浅野 真弓

逝去 令和7年2月28日

故 吉田 啓康先生

誕生 昭和17年1月23日
遺族 吉田 勝子

逝去 令和7年3月4日

故 伊藤 一博先生

誕生 昭和9年11月6日
遺族 伊藤 博夫

逝去 令和7年3月7日

故 佐藤 光之先生

誕生 昭和6年2月21日

逝去 令和7年4月9日

故 長島 延夫先生

誕生 昭和8年2月12日
遺族 長島 延浩

逝去 令和7年4月12日

故 村田 和夫先生

誕生 昭和6年1月22日
遺族 村田 哲

逝去 令和7年4月12日

クラブ活動「21」の計画

会話することは、フレイル予防のひとつと言われている。毎日、誰かと話すことを大事にしていますか？

そんな場を提供しているのが、クラブ活動ではないかと思っっています。諸般の事情で、会の運営が難しくなってきたというクラブもあるようですが、何かと乗り切りたいものですね。今年の計画について、綴っていただきました。活発な活動が展開されることを…。

園芸クラブ

部長 矢内 金五

今年度の園芸クラブは60代から90代の10名で活動します。

主な年間の計画は6月から9月までは、いわき公園で菊苗の配布や会員が自宅で育てた菊を持ち寄り、相互に教え合います。研修の成果は11月上旬に中央台公民館で菊花展示会として披露します。福助

旅行クラブ

部長 椎根 幸男

ジャンボ福助・スプレー菊・ドーム菊・小菊盆栽菊の部門で最優秀賞としてトロフィーが授与されます。今年度から10名の会員が審査員になり、得票数の多い菊がトップになります。

退職校長会の皆さんの御来場をお待ちしています。

囲碁クラブ

部長 伊藤 紘

退会者が出たこともあり、引き継ぎ等に、時間がかかるなどしたが、ようやく新体制も整い、秋の旅行から実施する予定である。一緒に旅行を楽しむ会員を募集しています。

今年度は退職校長会員8名、地域の方2名、計10名でスタートしました。公民館を借りての活動なので、目的次のように決めました。

一、公民館活動に協力する。

絵画クラブ

部長 西山 允雄

(地域行事・社会参加等)

二、会員相互の親睦を深めて、棋力の向上を図る。

年間行事としては、

一、年4回の会員間の大会(教育長杯、クラブ長杯、市長杯、チャンピオン杯)

二、県大会参加、県名人を決めます。

(県北、県中、県南、いわきより代表者が出場して対局)

昨年12月当クラブの会員だった三戸邦一先生が亡くなりました。県水彩画会など多方面で活躍され多才さを発揮された先生はランプ画会にとつて貴重な方でした。例会では楽しい話をされ会員を和ませてくれました。25年もの長い間、共に活動してきたのに残念でなりません。

5月11日に総会を開き、今年度も活動を始めました。月1回内郷公民館で例会を開き室内写生、野外写生など行う予定です。

ゴルフクラブ

部長 金山 一彦

9月26日から10月2日まで画会展を文化センターで開催します。多くの方のご高覧をお待ちいたします。

5月15日(木)、サラブレッドCCで今年度最初のコンペを開催し、総会を行った。今年度は24名(いわき18名、双葉6名)での活動となった。

暑さの8月、寒さの12、1、2月は休みとし、各月の第3木曜日に市内ゴルフ場でコンペを実施する。季節によって様々な彩りを見せる自然の中で、毎回異なる同伴者と和気藹々と会話を交わし、ボールを飛ばす爽快感を味わい、体力と相談しながら体を動かす。今年も「明るく、楽しく、元気に」ゴルフを楽しみたい。

イベントクラブ

部長 門馬 栄

イベントクラブは、今年度正式に総会で認められ、21名のクラブ員で活動することになりました。規約には「イベ

ントクラブは、会員なら誰でもイベント毎に自由に参加できる」とあるように、LINEでイベント情報を共有し、無理のない範囲で参加するクラブです。例えば、今年度は「一歩、二歩、散歩クラブ」として自分の健康のため自分で決めたコースを散歩し、歩数やコースを紹介し合ったり、「文部省唱歌を歌おう」とイベントを企画、実施したりと活動も多様です。会員の皆さんも参加してみませんか。

小学校陸上大会競技役員支援ボランティアに、次の8名(のべ14名)の会員が参加しました。

金内三郎 大平好一
村田 哲 小泉育男
櫛田祐子 鈴木廣美
平原浩子 澤田三登利

猛暑の中、お疲れ様でした。



文芸欄

詩

反転するサボテンの花

渡邊 隆

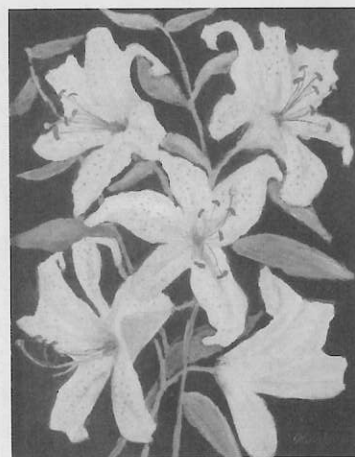
薄桃白の花が天へ向かって
根の国への入り口が開いた
花々の宇宙の声に支えられ
時折地上世界へ使者を出す
何かが出入りしている気配
姿かたちなく気配を消して
地上界が気になり顔を出す
現世への通路パイプが突出
天井へ向けたラッパホーン
精妙な空気を排出している

反転した宇宙は深水の領界
大宇宙の青空と星界の瞬き
天使が出入りしている空間
異界への通信始まりの予感
カタチなきものへ通信開始

宇宙へ出入りは自由ですか
小鳥や蝶は飛んでいますか
いいえ光の明暗と空気流入
熱を感じることはありません
外界通信が欲しくなります

熱と空気の流入だけの世界
さざ波と余白と隙間と亀裂
サボテンはミクロコスモス
サボテンの宇宙は反転して
咲いて旋律を絶叫している
跡に何も残さず静かな余韻

絵画



「花」 (F8号 油彩)

西山 允雄

暑い盛り山中に芳香を放ちながら
咲いている山百合に魅せられて描い
てみました。

短歌

生かされて 阿部 良全

月二回「楽園カラオケ」歌ひ
ます八月は決め「岸壁の母」
遂に來た九十七歳誕生日短歌
に貴方に生かされにつつ

俳句

木村 秀子

「銀山温泉の旅」にて
銀山温泉ガス灯のさみだるる
湯の町の声の尾をひく夕河鹿

芳賀 利允

一枚の水のカーテン夏の山
帰る娘を見送る母や春夕べ

川柳

志賀 英信

会津の旅
みやげの仕上げ 酒2本
こいのぼり
見ては人口 増願う

書

「幼」

丹 美枝



毎月提出している競書23科目の中に、前衛書部と
少字・墨象部があります。読むのではなく感じる世
界と言ってもいいかもしれません。自由な発想、内
なるものの表現が苦手な私にとっては、なかなか
難しい部門ですが、「継続は力なり」を信じ、欠か
さず出品することになっています。
この作品は、甲骨文字の幼を参考に、段ボールの
断面を筆代わりにして仕上げた半紙サイズの作品で
す。

編集後記

○大阪万博が開催中
である。会員の中に
は「行ってきたよ」と
いう方もいらっしゃる
のでは。話題は豊富だが、
私が目を引き付けられたの
は、i p s細胞でつくられた
心臓である。しっかり脈打つ
さまを見て、感動した。進歩
を見せられている。
○この時期、周りはグリーン
カーペットになる。米の価格
高騰を受けてか、昨年より休
耕田が少なくなっているよう
にも感じる。が、令和の米騒
動とも呼びたいような状況
に愕然としている。少しでも
早い鎮静化を望みたい。
○散歩をしていると、
「これ、夕化粧ですよ。」と
声をかけられた。濃いピンク
のかわいらしい花である。こ
の頃、気にしていた花なので、
早速植物図鑑を開いてみた。
熱帯アメリカ原産で、明治時
代に観賞用として導入された
とか。こんなことも、散歩の
醍醐味のひとつかな？